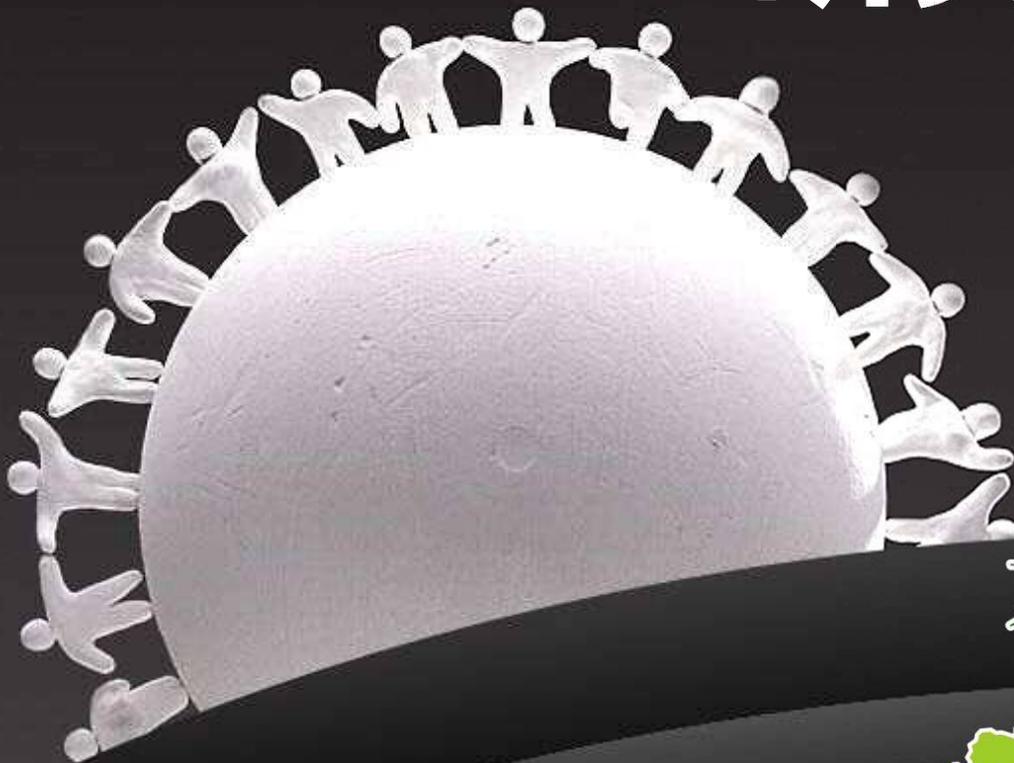
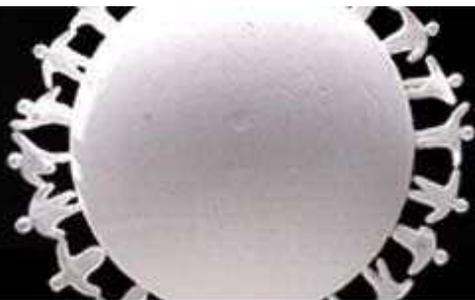


三遠南信地域広域連携研究会 研究報告

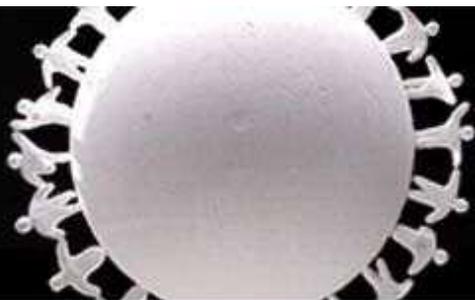


平成29年10月30日



研究会設置の趣旨

- ◆ 三遠南信地域では、平成6年の「第1回三遠南信サミット&シンポジウム」開催以来、およそ4半世紀にわたり、地域内の連携と交流を深めている。
- ◆ 平成20年には、「三遠南信地域連携ビジョン」を策定し、官民連携組織である「三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)」を立ち上げた。
- ◆ ビジョン計画期間である10年の間、三遠南信災害時相互応援協定の締結、三遠南信自動車道の建設促進などの成果を積み重ねてきた。
- ◆ その反面、緩やかな連携に基づく事業推進における課題も浮き彫りとなっている。平成25年10月に了承された「新SENAへの移行計画書」に加え、昨年2月開催の三遠南信サミットin東三河におけるサミット宣言を踏まえ、広域連合を始め、本地域における広域連携強化のあり方に関する研究会を設置した。



研究会の概要

目的

本地域の広域連携強化のため、判断材料となる情報の整理・研究

研究内容

平成28年度

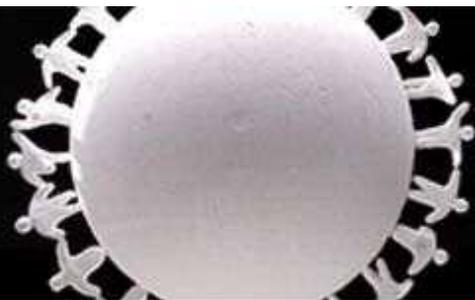
- I 本地域に適した広域連携事業
- II 上記 I に適した広域連携体制

平成29年度

- III 具体的な広域連携事業
- IV 財政シミュレーション

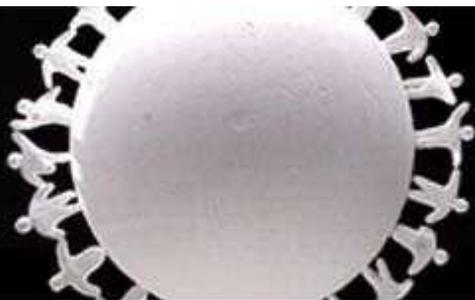
構成

39市町村(SENA構成全自治体)の広域担当課長
[平成28年度は35市町村]



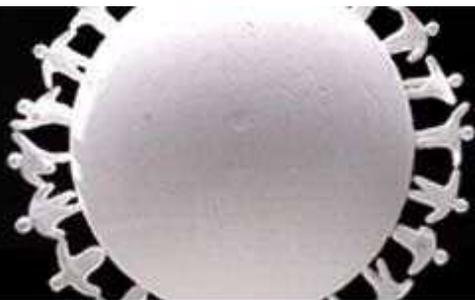
取り組み状況①

- H28.7.15 第1回研究会 現状・課題の整理**
8月 アンケート調査1 (広域連携状況など)
- H28.10.7 第2回研究会 広域連携体制の制度確認、
アンケート調査結果による広域連携状況の
確認など**
11~12月 アンケート調査2 (望ましい広域連携事業
など)
- H29.1.11 第3回研究会 本地域に適した広域連携事
業と想定される体制の検討、報告書案の検
討**
- H29.2.15 三遠南信サミット2017in南信州 全体会
平成28年度報告**



取り組み状況②

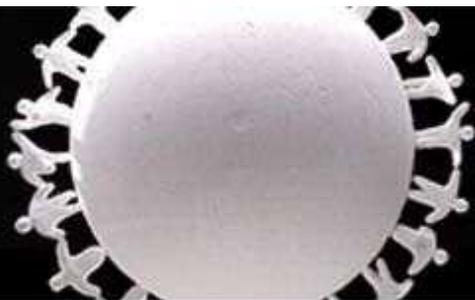
- H29.4.24 第4回研究会** 今後の研究会の進め方
4~5月 アンケート調査3・4 (広域連携を必要とする具体的な事務事業、事業実施に係る有効性・実現性など)
- H29.6.26 第5回研究会** 具体的な広域連携事業の検討及び事業の体系化
- H29.8.23 第6回研究会** 財政シミュレーションの検討
- H29.9.29 第7回研究会** 研究結果報告案の検討
- H29.10.30 三遠南信地域市町村長会議、新ビジョンに関する拡大委員会** 研究結果報告



具体的な広域連携事業①

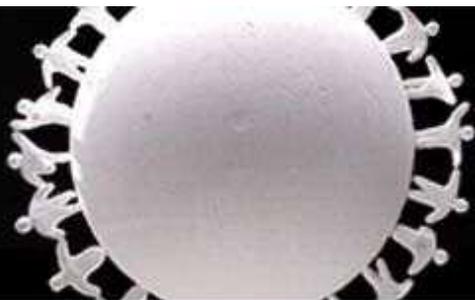
本地域特有の課題解決のため、有効性・実現性などを踏まえ実施すべき事業

分野	区分	事務事業
防災	広域防災体制整備	広域連携体制の構築、広域防災計画の策定など
産業	広域観光振興	広域観光振興計画の策定、広域観光ルートの設定など
	農産物販路開拓	海外への農産物販路開拓
	その他広域産業振興	域外活動拠点の共同設置、三遠南信クラスターの連携など
暮らし	移住定住促進	アンテナショップと連携した移住相談など
	広域文化振興	三遠南信地域芸能継承
	広域教育	県境を越える教育圏構築に関する調査研究
	広域医療	県境を越える医療圏構築に関する調査研究



具体的な広域連携事業②

分野	区分	事務事業
環境	水源資源保全	三遠南信地域水資源適正管理計画の策定など
	森林保全・活用	三遠南信地域森林認証制度導入など
	環境保全	再生可能エネルギーの導入推進、エネルギーの地産地消の検討など
生活 基盤	交通・物流基盤整備	三遠南信広域幹線道路網構想及び計画の策定など
	広域情報ネットワーク	日常的な情報の広域化の推進
	行政基盤の強化	広域職員研修の実施など

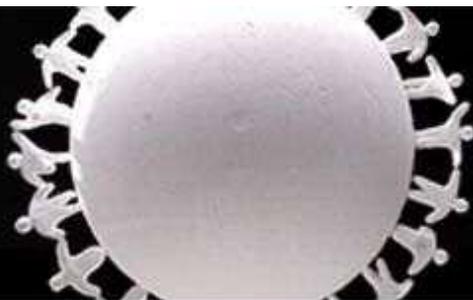


具体的な広域連携事業③

事業に係る「実施した場合の効果」、「実現に向けた問題点・課題認識」

広域防災体制整備

効果	<ul style="list-style-type: none">・ 広域防災訓練実施による課題抽出、円滑な対応の検討・ 資機材などの共同所有によるコスト削減
問題点など	<ul style="list-style-type: none">・ 防災訓練実施体制の検討・ 共有可能な資機材の調査研究、最適な保管場所・費用分担の検討



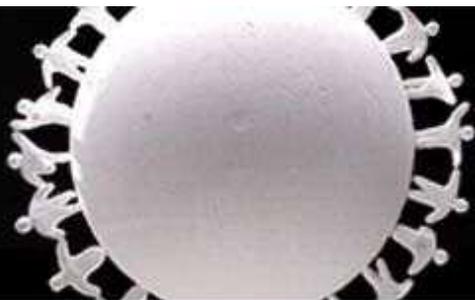
具体的な広域連携事業④

広域観光振興

効果	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊施設の相互補完による交流人口拡大・ 大きな負担であるプロモーション活動費のスケールメリットによるコスト削減
問題点など	<ul style="list-style-type: none">・ 本地域の全国的な認知度は低く長期対応が必要・ 各市町村の観光資源を平等に扱うことが困難

農産物販路開拓

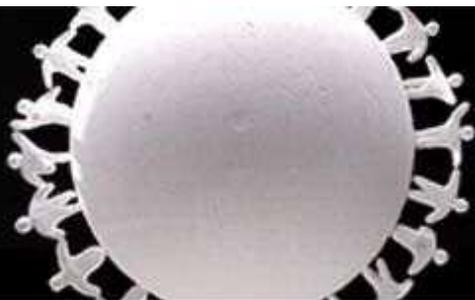
効果	<ul style="list-style-type: none">・ 地域間の気候差による周年出荷体制の構築・ 本地域の窓口一本化により利便性の拡大
問題点など	<ul style="list-style-type: none">・ 生産者、JAなどの調整・協力・ コーディネーターや委託先の確保・育成



具体的な広域連携事業⑤

移住定住促進

効果	<ul style="list-style-type: none">多様な資源を活用した効果的・魅力的な情報発信行政域を越えた住居・雇用の場の選択による移住定住促進
問題点など	<ul style="list-style-type: none">各市町村の移住関連情報の管理や相談対応を担える人材が必要自治体間で競合しないような住居・雇用の場の広域的受け入れ体制の構築



広域連携体制①

事業ごとに実施に適した広域連携体制を想定

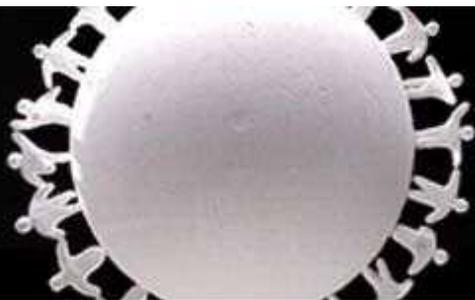
観光

検討のポイント

- ソフト事業などを柔軟に展開
- 官民連携
- 類似の既存組織との棲み分け

想定される体制

- 協議会
- 事務の委託、機関等の共同設置
- 広域連合
- 任意の連携体制



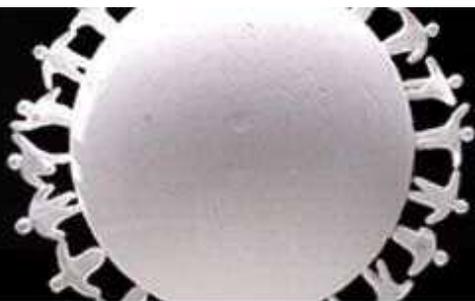
広域連携体制②

防災

検討のポイント	<ul style="list-style-type: none">三遠南信災害時相互応援協定の枠組外の自治体の扱い制度面での調整
想定される体制	<ul style="list-style-type: none">広域連合任意の連携体制

移住定住、農産品

検討のポイント	<ul style="list-style-type: none">柔軟に展開官民連携類似の既存組織との棲み分け
想定される体制	<ul style="list-style-type: none">事務の委託、機関等の共同設置任意の連携体制

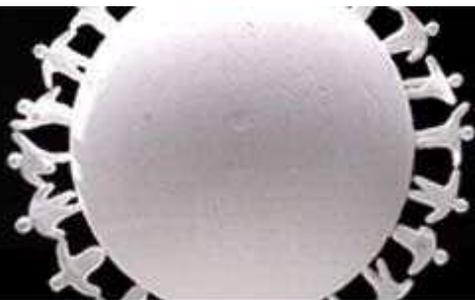


財政シミュレーション①

(単位：千円)

区分	総事業費		
		事業費	人件費
広域防災体制整備	15,200	200	15,000 (2.0)
広域観光振興	51,000	21,000	30,000 (4.0)
農産物販路開拓	70,000	40,000	30,000 (4.0)
移住定住促進	23,750	20,000	3,750 (0.5)

- ・ 総事業費は年度ごとに算出。
- ・ 人件費は1人工当たり7,500千円/年として算出。()内は人工数。

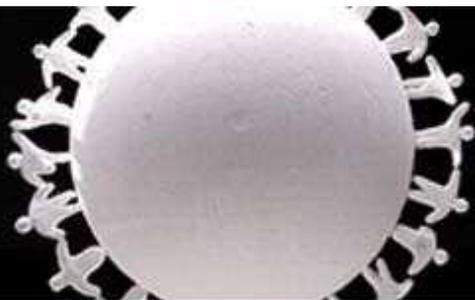


財政シミュレーション②

(単位：千円)

区分	総事業費		
		事業費	人件費
水源資源保全	40,000	10,000	30,000 (4.0)
交通・物流基盤整備	25,000	10,000	15,000 (2.0)
行政基盤の強化	89,500	52,000	37,500 (5.0)

- 総事業費は年度ごとに算出。
- 人件費は1人工当たり7,500千円/年として算出。()内は人工数。



財政シミュレーション③

東三河広域連合の本部事務局経費 (H29予算)

(単位：千円)

項	金額
議会費	8,309
総務管理費	139,750
選挙費	42
監査委員費	3,465
広域行政推進事業費	23,473
計	175,039